《沖縄協同病院の理念》

○人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。

○地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

○基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

2026年度のスタートにあたって

沖縄協同病院
事務長
屋良 樹一（やら きいち）

　組合員の皆様こんにちは。4月から、当院は紹介受診重点医療機関として県からの認可を受けることになりました。患者様には大変ご迷惑をお掛けしますが、今後は、地域の医療機関との連携を強化し、専門的かつ高度な治療に重点を置くことで、救急医療・高度急性期医療等の役割をこれまで以上に果たしていきたいと考えております。何卒ご理解・ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

　さて、医療を取り巻く情勢は年々厳しくなっております。報道でも大きく取り上げられましたが、病院6団体は、「病院がいま危機的状況にあり、地域医療は崩壊寸前にある」「このままでは、ある日突然、病院がなくなる」と強い言葉で危機感を表明しました。病院がなくなるということは、「医療が受けられなくなる」⇒「患者が不利益を被る」事態につながる可能性があります。

　民医連をはじめ多くの医療団体の訴えや、多くの組合員の皆様による署名活動により、2026年度診療報酬改定では、薬価や材料価格の引き下げ分を含めた「全体」の改定率はプラス2.22%となり、これは2014年度以来、12年ぶりのプラス改定となりました。署名活動のご協力、本当にありがとうございました。

　2026年度、沖縄協同病院はこれまで以上に地域の中核的な急性期病院として役割を果たしてまいります。

　最後になりますが、病院の理念でもある無差別平等の医療を実践できるよう取組みを行い、地域の皆様の健康を守り、最善の医療を提供し続けます。患者様や組合員の皆様からの信頼に応えられるよう、日々努力を重ねてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

外来体制変更のお知らせ

2026年4月1日より、内科・外科・泌尿器科・形成外科・小児科の外来体制が変更となります。診療日や担当医などに一部変更がございますので、受診の際は事前のご確認をおすすめします。新しい外来体制の詳しい内容は、右記のQRコードよりご確認ください。

病院の活動状況 <2026年2月度>

- 外来一日平均患者数：238人（前年同月比 −70人）
- 入院一日平均患者数：233人（前年同月比 −40人）
- 組合員利用分量(率)：65.9%（前年同月比 +2.9%）

今後の外来のかかり方①

各科から 230 呼吸器外科より

　外科、呼吸器外科、救急科担当の永田と申します。組合員の皆様におかれましては、医療生協活動へのご理解、サポートをいただき感謝しております。3年前、私はこのはいさい誌に医療の高度化専門複雑化の中でかかりつけ医一人が患者さんをすべて診断管理することは困難で、患者さんには負担ですが、複数科の診療が必要とされれば辛抱強く通院を続けていただきたいとお願いしました。さらに1年半前には医師の働き方改革による規定外労働時間（残業）の法的制限、協同病院は患者さんの直接受診ではなく、地域の開業医、かかりつけ医からの紹介状を頂き、対応する紹介受診重点医療機関や地域支援病院を目指すことをお話しし、クリニックなどからの紹介状を頂いて予約の外来はしっかり受診されること、予約外の診療相談はできるだけ平日日中（できれば朝方から）にしていただくことをお願いしました。さらにこの1年半においては主に物価高を反映した診療材料の高騰での医療機関経営のひっ迫や医療従事者の人材不足の問題が生じてきました。

　私の外来や救急室で、直近の予約外来に受診せず、調子がさらに悪くなって外来や救急室に来られる方を経験します。そのときになぜその前の外来に行かなかったのかと聞くと、忘れていた、お金がかかる、とか、体調が悪かったから移動できなかったとも言われる方がいます。予約されている外来はぜひ体調が良くても悪くても受診をしていただきたいと思います。上記のような変革や人手不足の影響もあり、救急室も含めて当院での臨時外来対応が非常に厳しくなっています。予約の取り直しも離れた日時しか取れないこともあります。体調が悪い時こそまずは予約外来の受診をしてください。そこから担当科に紹介することはよりスムーズに行きます。何度か見ている医師の方が患者さんの情報をより把握しており診断がより早く進むからです。（次月へ続く）

呼吸器外科部長　永田　仁

第21回 那覇美らさくらまつり

2月21日(土)、22日(日)に漫湖公園古波蔵側中央噴水広場にて「第21回那覇美らさくらまつり」が開催されました。当院職員は噴水広場北側入口付近にテントを設置し、21日(土)の午前中に「骨密度簡易測定機器」を用いて出店しました。『骨密度簡易測定』は以前から大人気で、機器の事情により1日100人限定となっています。当日はきれいな青空、晴れて良い天気で暖かい日となり午前中で50名の来店があり、その後、午後のこくら虹薬局へバトンを繋ぎ会場を後にしました。開始前からご家族連れやご年配の方々まで多くの来場者で賑わっている光景も印象的でした。来年も地域の方々と交流できるよう引き続き『那覇美らさくらまつり』に参加したいと思います。来年も良い天気でありますように！

総務課長　安座間 太一

8階病棟 さくらオブジェ

春が来ました。病棟の中がピンクで満開です。

こんにちは赤ちゃん

当院で出生したBabyの写真です

安次嶺匠哉ちゃん

長嶺凜雄ちゃん

Instagramやってます
@okikyo.sanka

私の部署の好いところ

手術室

私が所属する沖縄協同病院手術室では、約20名の看護師が働き、年間約1500件の手術に対応しています。医師や臨床工学技士と連携し、チームで患者さんの命を守る最前線の現場です。看護師は器械出しと外回りを担い、安全な手術を支えています。緊張感のある職場ですが、成功時の達成感は大きくやりがいがあります。

そんな手術室で働く先輩の玉城さん自称「完の璧男(かんのぺきお)」は、観察力と明るさで職場を支える尊敬する先輩であり、私も少しでも近づけるよう努力しています。

看護師　宮國 慧

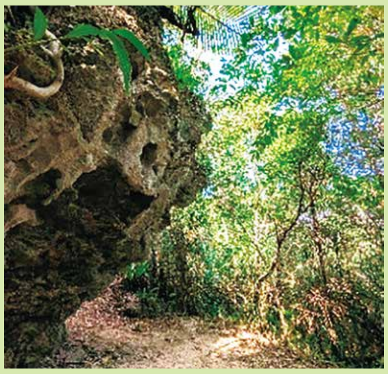
初期研修医　修了式

まじゅん！スージ道 4
岩の上から荷物を釣り上げたフェーレー
フェーレー岩・恩納村真栄田

『フェーレー岩』険しい山道で難所だったが、旅人はここを通らなければ山原へ抜けられなかった。大岩前の「石くびり」(石ゴロゴロ)坂も、今では畑に通うための舗装道路である。

琉球王朝時代、多幸山を抜ける街道は険しい山道で『フェーレー(山賊)』が出没したという。

言い伝えによると大きな岩の上から、女性の頭に載せた荷物をひっかき棒で釣り上げて奪ったというからなんとも珍妙である。



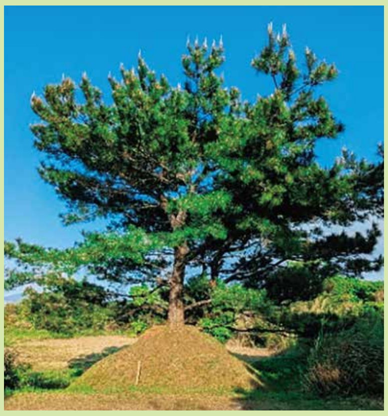
フェーレー岩の裏の細道。ほの暗い。

しかし、男性には一変、刀を振りかざして襲ったというから、旅人たちから恐れられていた。

真栄田集落近くの山道に山賊が出没したといわれる『フェーレー岩』がある。意外と道幅が広く、走ればフェーレーに捕まりそうもないが…と考えていたら体格のいい地元の青年に声をかけられた。「ここは岩を削って広げた道だよ。人が歩く道は岩の後ろ。フェーレー仲間の太ったおばさんが荷物を吊り上げてたよー。」などとまるで見てきたことのように言う。

首をひねりつつ大岩の後ろに行くと、ぐるりと険しい細道があり、岩がぐいとせり出している。

街道沿いの山道は石ゴロゴロだ。



『真栄田の一里塚』首里から今帰仁への西海岸は「国頭方西海道」という「宿道」(すくみち・街道)で番所や一里塚が整備されていた。

なるほどここなら旅人も足止めを食うし、岩の上から荷物も狙える。礼を言おうかと戻ると、人懐っこい青年は煙のように消えていた。はて？彼は何者だったのか。もしかしたら…

さんぽ人　宮城 じゅん